

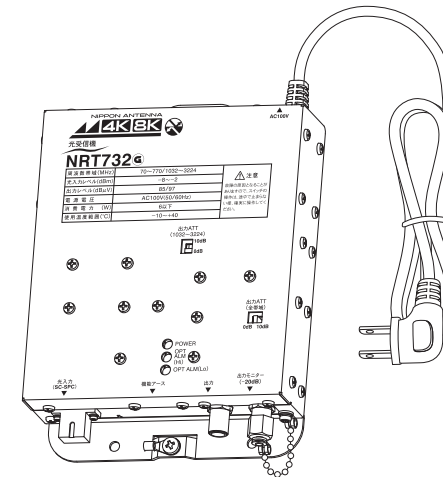
屋内用光受信機 Model NRT732

目次

表紙	説明の始まるページ
〔取扱説明書〕	
取扱上の注意	1
メンテナンス	1
安全上の注意	2
廃棄上の注意	2
特長	3
各部の名称および機能	3
性能規格	4
〔施工説明書〕	
設置場所・条件	5
光ファイバー、光コネクターの取扱い	5
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法	6
機能アースの接続	6
操作方法	7
収納箱への設置	7
取付方法	7

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

取扱説明書




Model
NRT732

取扱上の注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

お客様窓口  0570-091039 ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社 / 〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎ (03) 3893-5221 (大代)
 (ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外觀の一部を予告なく変更することがあります。
 5106925 平成30年3月

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

危険

- 光ファイバーには不可視レーザー光が放射されています。目に障害を与える危険性がありますので、絶対に光ファイバーのビームをのぞき込まないでください。

警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。
- 本器の上面カバー（接続端子部カバーは除く）をはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

- 本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

廃棄上の注意

本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

操作方法

■操作は以下の手順でおこなってください。

- ①光伝送路の光コネクタ（SC-SPC）を光パワーメーターに接続し、本器の規定光入力レベル範囲（性能表参照）であるか確認します。
- ②光コネクタ清掃後、本器の光入力端子に接続し、前面のアラームランプ（赤）が消灯したことを確認します。アラームランプが点灯している場合、光入力レベルが規定範囲外であるか、接続する光コネクタが本器アダプターへしっかりと挿入されていない場合があります。
- ③RF出力端子、または出力モニター端子（-20dB）よりRFレベルが規定値になっていることをご確認ください。また、必要に応じてアッテネータ機能をお使いください。

危険

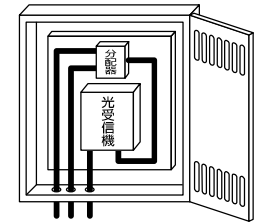
- 光ファイバーには不可視レーザー光が放射されています。目に障害を与える危険性がありますので、絶対に光ファイバーのビームをのぞき込まないでください。

注意

- 光コネクタを接続する際は、コネクタ端面を専用クリーナー、またはアルコールで良く清掃してから接続してください。機能低下、機器故障の原因となります。
- 使用する光コネクタの形状はSC型、SPC研磨のものを使用してください。その他のものを使用した場合、機器を破損することがあります。

収納箱への設置

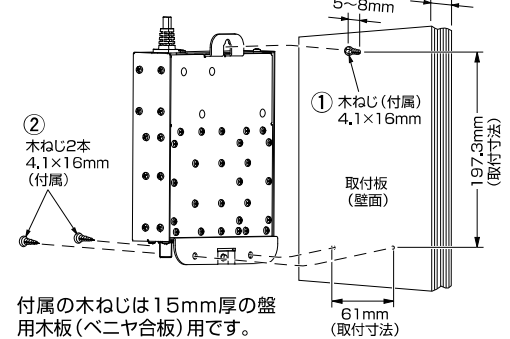
- 収納箱に入れて使用する場合は、上下に防虫網付きの換気孔などのある収納箱を使用し、温度管理に十分注意してください。また、光受信機は収納箱の最上部を避け、換気孔より下側の位置に設置してください。



取付方法

- ①付属の木ねじをねじ頭部分が少し浮くように木板に取付け、機器を引っ掛けてから本体上部を固定してください。
- ②上部を止めた後、本体下部をガタツキがないよう、ねじ頭と本体の間に隙間を作らず、空回りしないように注意してしっかりと固定してください。

【盤用木板の場合】



付属の木ねじは15mm厚の盤用木板（ベニヤ合板）用です。他の材質面へ取付ける場合は、適切なねじをご使用ください。

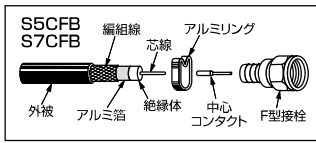
注意

本器は図のように必ず縦方向に取付けてください。指定外の取付けでは十分な放熱がおこなわれず、機器の故障の原因となります。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法 (別売品)

◆用意するもの
 カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

■各部の名称



- 1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)
- 2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- 3 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
- 4 編組線をめくり返します。
- 5 編組線から2mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。
- 6 芯線を4~4.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないようカンメします。
- 7 F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。

●F型接栓締付トルク 2.0N・m (約20kgf・cm)

⚠注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。

機能アースの接続

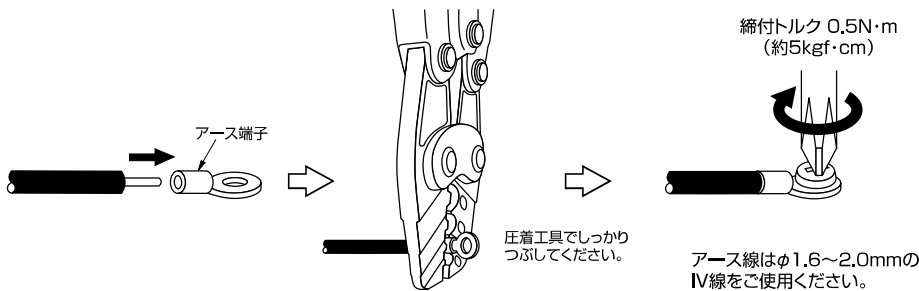
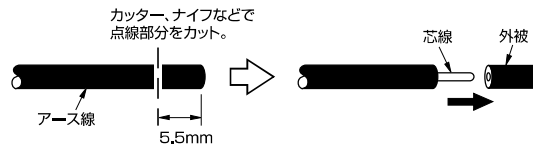


⚠注意

アース接続は必ずおこなってください。接地がおこなわれないと機器の故障の原因となります。(接地抵抗 100Ω以下：D種接地工事)

●機能アースの接続

- 1 アース線先端の外被をはがしてください。
- 2 アース端子にアース線を通して、圧着工具でかしめてください。
- 3 アース端子をシャーシの所定の位置にねじ止めてください。



圧着工具でしっかりつぶしてください。

アース線はφ1.6~2.0mmのIV線をご使用ください。

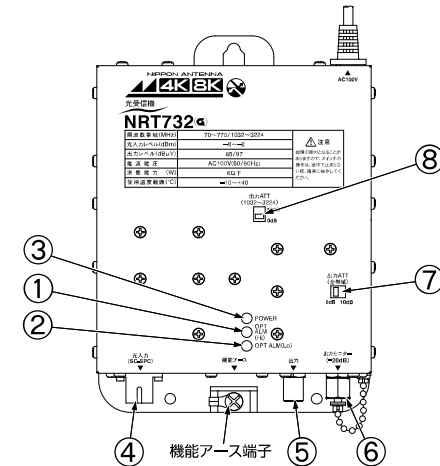
⚠注意 アース接続は必ずおこなってください。接地が不十分だと避雷回路が働かず、機器や施設の故障などの原因になることがあります。(接地抵抗 100Ω以下：D種接地工事)

特長

1. 本器は高層ビルなどの共聴システムやCATV、電波障害対策などでご使用いただける光受信機です。
2. 伝送帯域は、CATV帯(70~770MHz)、BS・CS-IF帯(1032~3224MHz)と広帯域での伝送が可能です。
3. 本器内蔵のAGC機能により、外部調整の必要がなく、安定した出力レベルが確保できます。また、10dBの出力アッテネーターおよびレベル調整アッテネーターにより、出力レベル調整がおこなえます。
4. 出力モニター端子を備えていますので、保守、管理を容易におこなえます。

各部の名称および機能

●NRT732



①	アラームランプ (OPT ALM [Hi])	光入力レベルが+1dBm以上で点灯(赤)します。
②	アラームランプ (OPT ALM [Lo])	光入力レベルが断時で点灯(赤)します。
③	電源ランプ (POWER)	電源を入れると点灯(緑)します。
④	光入力端子 (SC-UJPC)	規定の光パワーレベルを入力してください。(−8~−2dBm)
⑤	RF出力端子	RF信号が出力されます。
⑥	出力レベルモニター端子	出力端子のレベルより、約20dB低いレベルが出力されます。
⑦	アッテネーター (全帯域)	全帯域の出力レベルを調整できます。(アッテネーター−10dB)
⑧	レベル調整アッテネーター (BS・CS-IF)	BS・CS-IFの出力レベルを調整できます。(アッテネーター−10dB)

性能規格

●NRT732

項 目		性 能		備 考	
周波数帯域	(MHz)	70~770MHz	1032~3224MHz		
伝送波数	(波)	74	50		
光特性	光入力レベル	-8~-2			
	光波長	1540~1560			
	光入力コネクタ	SC-SPC			
電気特性	出力レベル	85±4	97±4	※1	
	AGC特性	±3以内	±3以内		
	帯域内周波数特性	4以内	6以内		
	出力インピーダンス	75			
	出力VSWR	2.5以下		C15 F型接栓座	
	レベル調整アッテネーター	—	10		
	出力アッテネーター	10		スイッチ切換	
	出力モニター	-20±2	-20±2.5	スイッチ切換	
	CN比	35以上	28以上 ※2	※1	
	CSO	-48以下	—	※1	
	CTB	-50以下	—	※1	
	光入力 ALM LED	光入力レベル +1dBm以上 LED点灯、光入力レベル 断時		LED 赤	
	不要放射	(dBμV/m)	34以下		3m法による
	電源電圧	(V)	AC100±10(50/60Hz)		
	消費電力	(W)	6以下		
耐雷性	(kV)	±25(1.2/50μs)		ACライン間、RF出力端子	
使用温度範囲	(℃)	-10~+40		本体周囲温度	
外形寸法	(mm)	130(W)×178(H)×42(D)		突起物含まず	
質 量	(kg)	約0.8			

※1 弊社光送信機との対向性能

- CN比帯域換算値
70~770MHz : 5.6MHz
1032~3224MHz : 33.7561MHz
- 使用光ファイバー
シングルモード光ファイバー
- 弊社測定系による

※2 相互変調歪を含む

施工説明書

設置場所・条件

- 水中や雨水のかかる場所、高温(40℃以上)の場所、有害ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 光受信機は発熱しますので、熱のこもる場所はさけ、通風のある場所に設置してください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- 放熱のため、同軸ケーブルの引き回しにより換気孔を塞がないよう、ゆとりある収納箱に設置してください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

光ファイバー、光コネクタの取扱い

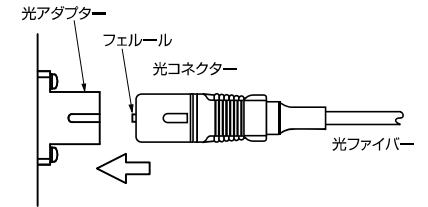
光ファイバー、光コネクタを取扱う場合は、専門の施工業者がおこない、以下に記載する内容を十分ご理解のうえ、ご使用ください。断線・損傷・特性劣化の原因となります。

光ファイバー

- 光ファイバーのビームは絶対にのぞき込まないでください。
- 取扱う光ファイバーの許容曲げ半径をご確認ください。
- 光ファイバーによじりなどのストレスを極力かけないようにしてください。
- 光ファイバーを強く引っ張らないでください。
- 光ファイバーの余長収納時、フタなどに挟まらないように細心の注意をはらって配線してください。

光コネクタ

- 光コネクタは接続毎に、必ずフェールル端面を光コネクタ専用クリーナー、またはキムワイブなどにアルコールを浸して、きれいにクリーニングしてから接続してください。
- 光コネクタはホコリや汚れに非常に弱いので、汚れた手で取扱わないでください。特にフェールル部分には絶対に触らないでください。
- 光コネクタの保護キャップは、接続時以外ははずさないようにしてください。汚れの原因となります。
- 指定された光コネクタの種類、研磨方法以外の光コネクタは使用しないでください。
- 光コネクタを機器に接続する際は、プラグの位置決め用の爪を、光アダプタの溝に合わせてまっすぐに挿入してください。絶対に斜めには挿入しないでください。光コネクタ、光アダプタの破損の原因となります。
- 光アダプタ内にマッチングオイルなどのグリスがはいらないようにしてください。本機器にはマッチングオイルなどの使用を特に必要としません。
- 光コネクタを高所から落下させたり、硬い物にぶつけたりしないでください。



危険 光ファイバーには不可視レーザー光が放射されています。目に障害を与える危険性がありますので、絶対に光ファイバーのビームをのぞき込まないでください。



注意 光ファイバーが破損した時は、破片などに手を触れないでください。破片だけがをる恐れがあります。